

住み慣れた地域で暮らし続けるための

支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の

立ち上げ支援講座

この講座は、**全講座受講無料**です。
※申し込み、参加費、受講料は、各自が負担いたします。宮城県
仙台会場

馴染みのある人たちとともに暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりの支援を目的に開催します。

講座開催のしくみ・スケジュール

第1段階

(日帰り) | 各回とも 13:00～16:30

※第1段階では、ご希望の開催回を、複数受講いただくことができます。石巻、二本松、釜石会場でも開催します。情報をご希望の方は事務局にご連絡ください。

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域に必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
- 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。

	実践報告	コーディネーター	会場/定員
1回目 10/12(日)	ボランティアグループ沖代すずめ 住民型有償サービス 沖代どんぐりサービス (大分県中津市) 代表 吉田 日出子	東北福祉大学 教授 高橋 誠一	日立システムズホール仙台・ エッグホール/80人
2回目 10/19(日)	ボランティアグループすずの会 (神奈川県川崎市宮前区) 代表 鈴木 恵子	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	TKP仙台カンファレンスセンター・ カンファレンスルーム3A/65人
3回目 12/19(金)	富山型デイサービス・このゆびと一まれ(富山県富山市) 理事長 惣万 佳代子	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	青葉カルチャーセンター・ 403会議室/70人

第2段階

(1泊2日)

1日目/13:00～17:30 ナイトセッション19:00～20:00
※交流会20:00～自由参加 2日目/9:00～15:00

- 第1段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題の見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークをとおして学びます。全国各地で実践する人たちの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていくことを目指します。各会場30人の定員です。第1段階を1回以上受講された方が対象となります。

H27.1/24(土)～ 1/25(日)	つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市) 代表 丸尾 多重子	東北福祉大学 教授 高橋 誠一	茂庭荘 /先着30人
	地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市泉区) 代表 荒川 陽子	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	
	塙山学区住みよいまちをつくる会 (茨城県日立市) 会長 西村 ミチ江		
	町四区二町内7組 (長野県駒ヶ根市) 梶田 ひと美		

第3段階

(日帰り) | 10:30～16:00

- 第2段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。事業計画書の書き方、各種制度情報などを学びます。30人の定員です。第1段階と第2段階を受講された方が対象となります。

H27.2/22(日)	(調整中)	東北福祉大学 教授 高橋 誠一	仙台白百合女子大学 教授 大坂 純	会場は決定次第、お知らせいたします。 先着30人
-------------	-------	--------------------	----------------------	-----------------------------

第3段階修了後

- 講座受講者のネットワークづくりと集いの機会をサポートします。
- 平成27年度以降、フォローアップ講座の開催やアドバイザーの派遣、情報提供を予定しています

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

後援

岩手県、宮城県、福島県、釜石市、仙台市、石巻市、二本松市、浪江町、
岩手県社会福祉協議会、宮城県社会福祉協議会、福島県社会福祉協議会、釜石市社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会、
石巻市社会福祉協議会、二本松市社会福祉協議会、浪江町社会福祉協議会、宮城県サポートセンター支援事務所

受講申込書



住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏名			性別	男・女
住所	〒 自宅 職場			
電話番号		FAX		
メールアドレス				
所属		職名		
現在の活動、ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。			

受講を希望される講座の会場と
開催回を○で囲んでください。複数受講可

※第1段階を1回以上受講された方で、
第2段階と第3段階の両方を受講できる方がお申し込みいただけます。
ご希望の会場と必要事項を○で囲んでください。

第1段階	1回目 (10/12)	2回目 (10/19)	3回目 (12/19)
------	----------------	----------------	----------------

第2段階	H27. 1/24 ~ 25	○宿泊の希望/あり・なし → 禁煙・喫煙 ○交流会の希望/あり・なし ※宿泊費(8,000円前後)、交流会費 (4,000円前後)は実費をご負担いただきます。
	H27. 2/22	※会場が確定次第、受講者にお知らせいたします。

【受講締切】

受講を希望される第1段階の講座の開催日10日前まで
申込書による FAX、または電話、ホームページからお申し込みください。

☞ 受講申込書を受け付け後、土日祝日を除き3日以内に受信確認のFAXをいたします。
会場の住所等は、受講決定のご案内でご連絡いたします。

● 報告事例紹介 ●

**ボランティアグループ沖代すずめ
住民型有償サービス どんぐりサービス**
(大分県中津市)
地域の住民と専門機関をゆるやかにつなぐ。小学校区を活動エリアとするボランティアグループ「沖代すずめ」は、給食サービス、高齢者のサロン、家事援助を中心とした有償サービスなど、地域にとって必要なサービスを創出し続けている。柔軟な活動が特徴で、校区内外の団体・事業所などと垣根をつくらずネットワークを広げている。

ボランティアグループすずの会
(神奈川県川崎市宮前区)
「ちょっと困った時に、気軽に鈴を鳴らしてほしい」そんな思いを込めてスタートしたボランティアグループ。地域のさまざまな自主活動団体、関係機関、専門職、地縁団体と、ネットワークを組み、地域の課題に取り組む。近所の方が気軽に個人宅に集まる「ダイヤモンドクラブ」を開催したり、見守りが必要な人を把握するマップづくりも行っている。

富山型デイサービス・このゆびとーまれ
(富山県富山市)
誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる、そんなまちづくりを目指している。赤ちゃんからお年寄りまで、障害があっても一つ屋根の下でみんなで一緒に過ごし、お世話をされる側だけではなく、時にはお世話する側になることも。富山型デイサービスの草分け。

つどい場さくらちゃん
(兵庫県西宮市)
父母・兄の介護を10年間続けたのち、本人・介護者・介護職・医療者・行政・社協・議員・大学・学生・地域活動者・子ども・子育て中のママ…誰もが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・学べる場・ともに出かける場・生きる場として、つどい場を開く。

地域生活支援オレンジねっと
(宮城県仙台市泉区)
「地域のみんなでお互いに困った時は助け合い、支え合っていこう」と活動している市民団体。「腰が痛いのので掃除や重い物を手伝ってほしい」など、いろいろな相談を受けて活動している。地域情報誌の発行や、ふれあいサロン活動、多彩な講座も開催。「誰でも立ち寄れる地域のお茶のみサロンと手づくりショップ」になっている。

靖山学区住みよいまちをつくる会
(茨城県日立市)
まず顔見知りになることから始めようと、スポーツ大会を催すことから始まり、会報「かわら版」の全戸配布、夏祭りやフリーマーケットなど開催。全住民対象のアンケート調査を行い、まちのニーズや地域課題を把握。郵便局の誘致やコミュニティセンター建設運動も行う一方、防犯灯の増設やため池の公園化など生活環境にも力を入れる。

町四区二町内7組
(長野県駒ヶ根市)
6世帯10人、平均年齢は約75歳の地区で、さまざまな支え合い活動を展開。奥さんに先立たれ施設入所した男性の「長年住んだ家に週3回は帰りたい」という希望を叶えるため、施設までの送迎、買い物、見守りなどを隣組で行ったことも。

主な講師

高橋 誠一 (たかはし・せいいち) 東北福祉大学 総合福祉学部 教授
北海道大学大学院経済学研究科博士課程を経て、同大学助手。宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの小規模ケアを研究するなかで、認知症介護やターミナルケアに関心をもつ。

大坂 純 (おおさか・じゅん) 仙台白百合女子大学 人間学部 教授
日本社会事業学校研究科を卒業後、仙台市立病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務。現在、社会福祉法人ありのまま舎理事長として、理念の「地域の中で障がいを持っていても、一人の自立した人間として生活」の実現を目指し活動中。